

繊維学会 地球に優しい繊維材料研究委員会
2025年度シンポジウム

<趣旨>

SDGsやESGの観点から、高分子・繊維材料の自然環境や生体への影響が幅広く検討されています。特に、その合成加工プロセス、使用中に生じる分解・摩耗産物、予期せぬ自然環境中への流出に伴う環境負荷、そして使用後の廃棄処理における社会循環性などから、材料の付加価値を再度検討する必要性が生じています。本シンポジウムでは、バイオ繊維材料を中心に、地球環境や生体に対してネガティブな影響を与えない材料設計、合成加工法、材料研究、分解性評価、および毒性評価などの観点から多様な研究を集約し、産官学が協力することで、地球に優しい繊維材料を開発する知見を得ることを目的としています。今回は、蜘蛛糸のようなバイオ繊維の研究分野において国際的に活躍しておられる先生方をお招きして、お話しを頂戴することにしました。この機会に、地球に優しい繊維材料について学んでみませんか。みなさまのご参加をお待ちしております。

主催 繊維学会 地球に優しい繊維材料研究委員会

日時 10月2日（木）13:00～17:00

会場 京都大学 桂キャンパス B クラスタ 桂ホール（京都市西京区京都大学桂）

(<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/access/katsura>)

交通 ①阪急電車 桂駅よりバスで所要時間約12分、桂駅西口より約10分に1本

②JR 桂川駅よりバスで所要時間約20分、桂川駅前より約30分に1本

③JR/近鉄電車 京都駅よりバスで所要時間約45分、京都駅前より約30分に1本

講演 <13:00～17:00>

開催趣旨説明

(京都大学) 沼田 圭司

- 1) 『Genetic engineering of spider silk proteins *in vitro* and *in vivo*』
(University of Bayreuth) Thomas Scheibel
- 2) 『Biomimetic spider silk』
(Karolinska Institutet / Swedish University of Agricultural Sciences) Anna Rising
- 3) ポスターセッション
- 4) 『Engineering Spider Silk: From molecular self-assembly to functional biointerfaces』
(University of Bayreuth) Martin Humenik
- 5) 『SpiCEy silk: Investigating SpiCE-17, a major non-spidroin component of spider dragline silk』
(理化学研究所) Ali D Malay

参加要領

- 1) 定員 150 名
- 2) 参加費 ①企業・大学 3000 円 ②学生無料
- 3) 申込方法 以下 URL

(<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScMz-SLBjk63xryUmm4vhff8VACPo8Cqs3gThahBPhY4LGcBw/viewform?usp=sharing&oid=110293486546791047044>)

より参加申込して下さい。

下記宛に、氏名・所属・連絡先 (E-mail)・ポスター発表の有無を明記して、Email でのお申し込みも受け付けております。事前参加申込の締切は 9 月 5 日 (金) です。

なお、お席に余裕があれば、当日登録もお受け致します。

申込先 〒615-8510 京都府京都市西京区京都大学桂 京都大学 大学院工学研究科

材料化学専攻 沼田圭司 E-mail: numatalab_secretary[at]t.kyoto-u.ac.jp

*[at]を@に変えてご連絡ください。